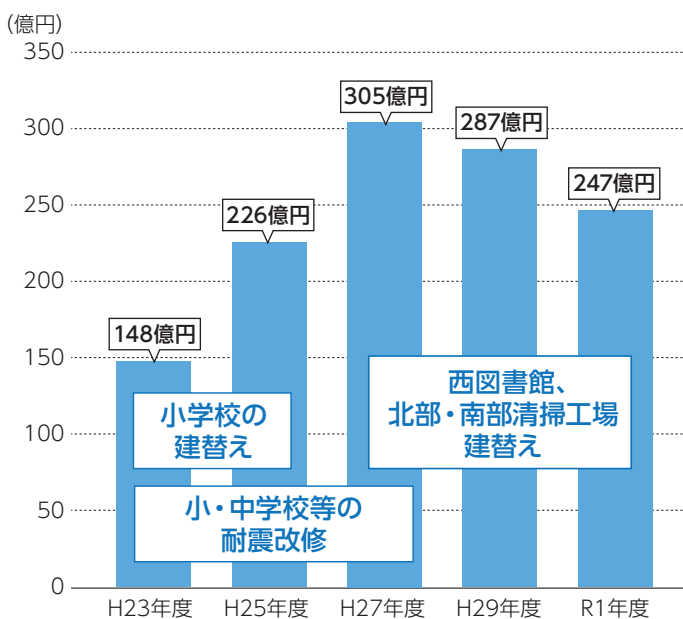


＜普通建設事業費 予算額の推移＞



本市はこれまで、急激な人口増加に対応するために学校等の整備を優先的に進めてきましたが、その一方で道路や橋りょう、公園等のインフラの整備がいまだに十分とはいえない状況です。また、東日本大震災を契機に、学校の耐震化等に集中的に取り組んできたため、近年の工事にかかる費用（普通建設事業費）は、大きく伸びています。

今後さまざまな市民ニーズに添えていくためにも、いま一度計画を見つめ直し、工事にかかるお金を抑制していく必要があります。ただし、市民の皆さんの安心・安全を守るために緊急性があるものや、道路・橋りょう等の維持・補修にかかる工事については、凍結せず引き続き実施します。

**需要にあわせた施設の「最適化」とコスト縮減**

新規の公共工事は凍結する一方で、既存施設については、学校等の7割が建築後30年以上経過し、今後一斉に改修や建て替えの時期を迎えます。そのため、早急な対応が求められています。

市はこれまで、「公共施設等総合管理計画」や「公共建築物保全計画」を策定し、「長寿命化」という視点から施設の保全を進めてきました。しかし、令和15年をピークに人口減少期へと転じていくことが見込まれることから、20～30年後には施設の規模についても考慮していく必要があります。また人口減少に加え、少子高齢化の進行による人口構造の変化は、将来必要となる施設の種類にも影響を及ぼします。こうした状況を踏まえ、施設の集約や複合を進めるなど、「最適化」という視点も加え、本市の人口構造に見合った施設のあり方を検討していきます。

なお、施設を改修する際には工事コストを縮減できるよう、これまでも行ってきた仕様の統一化や、必要に応じたリース方式の採用など、さらなる低コスト化を図っていきます。

新規の公共工事は2年間凍結

集中取組期間中は、原則として新たな設計・工事の着手を凍結し、その間に、工事内容の検証を進め、先送りや中止を含めた優先順位付けを行います。

市では令和元年・2年度の2年間を行革（行財政改革）の集中取組期間とし、6つの柱で取り組んでいます。これまで5つの柱について紹介してきましたが、今号では「公共工事の見直し」についてお知らせします。

町行政経営課 ☎436-2462

**「行革」で変わる船橋の未来**  
vol.8

公共工事の見直し

6つの柱で行革に取り組みます

- 業務改善 12/1号
- 民間活力の活用 7/1号
- 事業の見直し 9/1号
- 公共工事の見直し
- 使用料等の見直し 8/1号
- 歳入の確保 11/1号

子どもの安全な登下校のために

「おはよう！」と元気な声で子どもたちとあいさつを交わし、優しいまなざしで見守るスクールガードの皆さん。活動が始まって13年間、多くの皆さんの協力で子どもたちの安全な学校生活を見守り続けています。今号では、子どもたちの安全を守る取り組みを紹介します。

☎児童・生徒防犯安全対策室 ☎436-2876



**子どもの笑顔の守り人「スクールガード」**

子どもたちが安全に通学できるよう市内では登下校の時間に合わせて通学路や学区の公園を中心に、スクールガード活動が各地域で行われています。腕章や帽子を身に着けたスクールガードが子どもたちに声掛けをしながらパトロールしており、現在354団体、5671人のボランティアが登下校を見守っています。

**スクールガードを随時募集中**

子どもたちの安全のため、皆さんのさらなるご協力をお願いします。

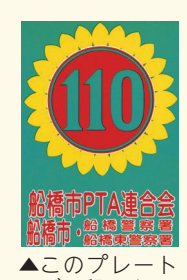
〈対象〉市内在住の2人以上の団体※個人で登録を希望する人は、活動地域の小学校へお問い合わせください 〈登録方法〉児童・生徒防犯安全対策室、各小学校で配布している登録用紙に、必要事項を記入し活動地域の小学校へ

**いざというときに「ひまわり110番」**

子どもが誘拐や暴力、痴漢などの被害に遭いそうになった、あるいは遭ったときに避難できる場所として「ひまわり110番」があります。一般家庭や企業、公共施設など、該当する場所には右記のプレートが掲示されており、保護者や警察・学校に通報する体制を整えています。市PTA連合会が中心となり、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っています。どこが「ひまわり110番」になっているか、日頃から親子で確認しておきましょう。

**防犯ブザーで不審者対策！**

来年度小学校に入学するお子さんを対象に、元年11月の就学時健診で防犯ブザーを配布しました。小学生になると、子どもだけで行動することが



**子どもたちの成長する姿が生きがいに**

南本町小スクールガード 安藤泰雄さん(79歳)

地域のために役立ちたいと思い、退職を機に登校時の見守りを毎日行っています。車の流れを常に意識し、どこが危険か見極め、状況に応じて判断することを大切にしています。やりがいは、子どもたちの成長を見られること。最初はあいさつを恥ずかしがっていた子が、こちらから積極的に声掛けを続けることで自分からあいさつしてくれるようになるのはうれしいです。今後も体が動く限り、この活動を続けたいと思っています。



多くなります。いざというときのために、お子さんと一緒に使い方を確認しておきましょう。

☑就学時健診を市内で受診されなかったお子さんには、6月30日(火)まで児童・生徒防犯安全対策室で配布しています。

